

## 工藤篤子メールマガジン 126号

2008. 07. 03

### ●パリ日本語教会コンサート

### ●スイス伝道集会

ハンブルクの我が家の庭では、夜になるとナイチンゲール(日本名:小夜鳴鳥・サヨナキドリ)がそれはそれは美しい声で歌うようになりました!

お元気でいらっしゃいますか?

ずいぶん日が経ってしまいましたが、6月10日、無事、ドイツへ戻りました。といっても、ハンブルクへ直接戻らず、フランクフルトで降りて、近郊のダルムシュタット市にあるマリア福音姉妹会に立ち寄り、3日ほど休息と祈りの時を持たせていただきました。この3日間は、私にとって、とても大切な時となりました。気付かずになおざりにしてきた肉の思いや行動を祈りの中で示され、悔い改めに導かれました。13日、ハンブルクに戻った時には、また新たな思いと喜びをもって、パリのコンサート(6月21日、22日)とスイスの伝道集会(6月25日)の準備を始めることができました。

ただ、忙しさの中、日本でお世話になった方々へのお礼やご挨拶がなおざりになってしまいましたこと、この紙面をお借りして、心からお詫び申し上げます。



### ●パリ日本語教会コンサート

前回、パリの日本語教会主催の賛美コンサートに招いていたのは、3年前の春でした。当時、日本語教会はパリ郊外の教会を借りて礼拝を守っていましたが、コンサートはパリの中心地、オペラ座のすぐ近くにある韓国人教会を借りて開催してくださいました。その頃、パリ日本語教会では、いつか人々が集まりやすい中心地で礼拝ができるように、と切に祈っていました。その「いつか」は、神の不思議な方法をもって、その一年半後に実現しました。

2006年のクリスマスから、パリ日本語教会は、マレー地区にあるバステューユ市庁舎のすぐそばに建てられた、ドーム型のパリ市指定建造物(400年以上前に建てられ、その後、ナポレオンがプロテスタント教会に認定)の教会で礼拝をすることができるようになったのです。この教会では、朝10時からフランス人改革派教会、2時からアフリカ人教会、4時15分から日本語教会、そして4時半から、教会の地下室で、アラブ人クリスチャン礼拝が行われている、国際的な教会です。

(パリ教会の所在地、礼拝時間をお知りになりたい方は、AKMMのHPにリンクされているパリ教会のサイトを開いてご覧ください。)

6月21日、私はここで賛美コンサートをさせていただきました。コンサートには、日本人だけでなく、フランス人、アフリカ人も駆けつけてくださり、会堂はほぼ一杯になりました。今回は、フランス語に堪能な姉妹が私の証しとトークをフランス語に通訳してくださったお陰で、フランス人やアフリカ人からも、「証しを通して語られ、心に触れられるものがあった」というコメントをいただきました。

嬉しかったのは、3年前のコンサートに奥さんに誘われ嫌々来られた、フランス人の、キリスト教が大嫌いだという御主人が、今回のコンサートには、何と彼のお父様も一緒に連れて来られたことです。そして、コンサート後、満面の笑みをたたえながら、真っ先にご挨拶に来られました。耳があまり良くないために私のトークが十分に理解できなかったクリスチャンの奥さんに、ご主人は、家に帰ってから詳しく私が話した内容を説明されたそうです。この御主人が一日も早く「イエス・キリストこそ私の救い主」と告白するに至りますように！



## ●スイス伝道集会

パリでのコンサートと翌日の礼拝で賛美奉仕をさせていただいた後、スイスのオルテンに住む今村さん宅へ向かいました。目的は、7月30日～8月3日、ヴィッテンベルクで行われる「ヨーロッパ・キリスト者の集い」での賛美奉仕のため、歌の私と、ミラノに住むチェンバロ奏者の内村まり子さんが、ドイツとイタリアの中間地点にあるスイスに住むリュート演奏者の今村さん宅に集まって、一緒に練習するためでした。それが、急遽、練習日の翌日に、まり子さんのご主人のミラノ日本語教会の内村伸之牧師のメッセージと、私たちの賛美による伝道集会をしようという運びになりました。



でも、集会には10人ぐらいしか来られない、ということでした。私は、たとえ参加者が一人だけでも、伝道集会をさせていただく意味があると思っていました。ですから10人も来られるなんて素晴らしい、と思ったのです。

ところが、集会前夜、内村ご夫妻、今村ご夫妻、私の5人で祈りの時を持ったとき、今村夫人は、涙を流しながら祈られたのです。「私は、このような機会が与えられたことを感謝しつつも、この家を溢れんばかりの人々で一杯にしてください、という

願いをどうしても拭いきれずにもがいています。どうして、10名ぐらいの人しか来られないのでしょうか。私は一人でも多くの人に福音を聞いて欲しいのです。でも、神様、私の願いにもし肉の思いが混じってい



るようでしたら、どうか赦してください。」と、心を注ぎ出すよ うな祈りを捧げられたのです。私は、その時、ハンナの祈りを思い出していました。

当日、今村家の居間は、これ以上人が入りきらないほど一杯になりました。主は、大人だけで25名もの人を送ってくださったのです。集会後、教会を離れていた方が、「また教会に行きます」、と言われました。関係がうまくいっていなかった二人が集会で偶然顔を合わせ、関係が回復出来たひとコマもありました。主が来られた方々の心に語られ、働かれたひとときであったことを、心から感謝しています。



## ●お祈りください

7月9日からスペインです。タラゴナ市で開催される音楽セミナーに参加、その後、13日がバルセロナ聖書を読む会主催のコンサートです。当日は、日本人、スペイン人の他に、韓国人も来て下さる予定です。バルセロナ在住邦人、韓国人、スペイン人の救いのために、どうぞ共にお祈りください！コンサート詳細は、次のホームページからご覧になれます。<http://barcelona-seisho.com/>

それでは、バルセロナから戻りましたら、また報告させていただきます。

主の恵みと祝福を、心からお祈りしています。

工藤篤子